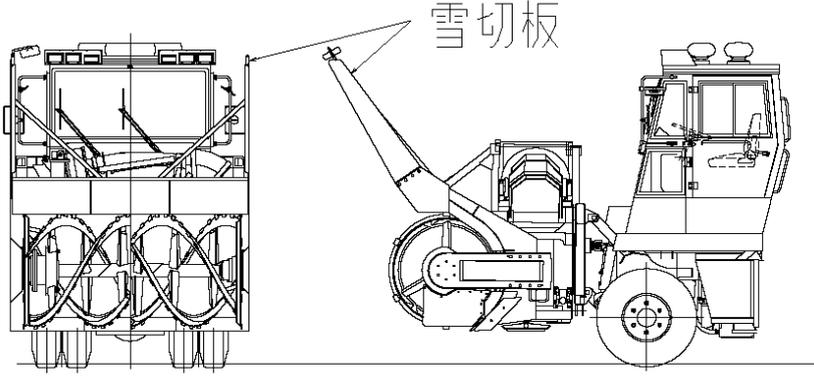


1 オプションの使用法(除雪機械別)

1-1 ロータリ除雪車

No・オプション名	1) 雪切板
使用機械	ロータリ除雪車
使用工法	雪び・雪堤処理作業
使用場所	道路(市町村道、県道、国道、高速)、高雪堤
使用法	<p>下の写真のように風などにより形成される雪びや雪堤等を切り崩してオーガ前方に落していく。</p>  <p>写真 雪切板により雪堤処理中のロータリ除雪車</p>
機能構造	<p>除雪装置の左右片側又は両側に取付ける板状の装置で、先端にアンダーミラーを取付けたものが多い。中・大型ロータリ除雪車の雪切板高さ(対応可能な雪堤高さ)は除雪装置下面(作業路面)からの高さを3m程度としているのが一般的である。標準車では2m弱となっている。</p>  <p>写真 雪切板(オーガ装置の左右両端に突き出ている板)</p>
特徴	<p>多雪地帯で使用する。多雪地帯では、より高い雪堤が多いので、それに対応するため標準の雪切板より大型のものが開発された。名称は、同じである。</p>

<p>留意事項</p>	<p>標準車に対して1.1m程度高く、3m程度までの高さとなるのでトンネル内の回送走行では雪切板の先端部分とトンネル内壁の干渉に気を付ける必要がある。 通常作業では、左側の雪切板が使用される。</p>
<p>図・写真</p>	 <p style="text-align: center;">図 雪切板</p>
<p>備考</p>	